みよしの農業振興を図る

若手農業者と市長と語り合う会

みよし市の農業課題を掘り起こすとともに、その課題の解決策を探ろうと7月30日、莇生町地内のほ場で若手農業者と市長と語り合う会が行われました。この日は、農業振興に力を入れている農業振興クラブの会員11人が参加。参加者は「一般車の農道への乗り入れで困っているので、何とかしてほしい」「道の駅のような農作物の直売所を作ってもらいたい」など、今後のみよし市の農業がより発展していくように話し合いました。

全国大会で全力プレーを誓う

全国高等学校総合体育大会・全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会出場者激励会

7月28日から九州各地で開催される平成25年度全国高等学校総合体育大会および広島県で開催される平成25年度(第51回)全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に出場する選手の激励会が7月17日、総合体育館で行われました。この日出席した14人の選手に、久野知英(くのともひで)市長は「持てる力を十分に発揮し、優勝を目指して頑張ってきてください」と激励。選手たちはそれぞれ大会への思いや目標を語り、大会での活躍を誓いました。

大自然に思いをはせて

小学生士別市派遣団結団式

友好都市提携をしている北海道士別市との交流を深めてもらおうと派遣団の結団式が7月22日、市役所で行われました。派遣されるのは、市内8小学校の5・6年生の代表児童32人。結団式では、派遣団員の児童一人一人が「士別市の気候を肌で感じてきます」「士別市の郷土料理について調べてきます」など、学びたいテーマや抱負について発表し、みよしでは味わえない大自然の下での貴重な体験に胸をときめかせていました。

大きくなるために必要なこと

わくわくからだ探検隊

元気に成長するために大切な体や食事、口の中のことを考えてもらおうと7月25日、保健センターでわくわくからだ探検隊が行われました。この日は市内の小学1年生から3年生までの児童11人が参加。初めに、保健師から生活のリズムについての説明を受けた後、4グループに分かれ、サケのソテーやみそ汁など4品目をお互いに協力しながら調理しました。食後は歯科衛生士から歯磨きの大切さを学び、丁寧に歯を磨きました。

大会新記録を目指す

小学校水泳大会

自己の記録に挑戦するとともに、市内の小学生同士の交流を深めてもらおうと7月22日、南部小学校で小学校水泳大会が行われました。今年は市内8小学校の4年生から6年生の代表児童およそ130人が参加。小野田賢治教育長が「健康管理に気を付けて大会に臨んでください」とあいさつした後、選手たちは男女別、種目別にそれぞれ分かれ、練習の成果を存分に発揮して最後のひとかきまで泳ぎ切っていました。

古代の生活ぶりを体験

縄文どきめき体験講座

縄文時代や弥生時代と同じような方法で土器作りをすることで、当時の生活の一端を感じてもらうとともに、かつてみよしで盛んに行われていた土器作りについて学んでもらおうと7月27日、サンアートで縄文どきめき体験講座が行われました。4回開催されるうちの3回目となる講座に14組21人が参加。歴史民俗資料館の職員の指導を受けながら、一人で作品を作る人や家族で協力して作る人など、思い思いに土をこねていました。